

機構について

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 4月19日放送 定年からの挑戦！広島発明王の金属表面処理技術

### 4月19日放送 定年からの挑戦！広島発明王の金属表面処理技術

4月19日 (TX・TVO・TSC)

20日 (TVA・TVH・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

21日 (BSJ)

広島県の(株)ケミカル山本(資本金1,600万円、従業員30名)は、ステンレス表面に付着する溶接焼けや、さび、汚れ、放射能などを完全に除去する金属表面処理技術の開発に成功した。大企業の研究所を定年退職した化学と金属の専門家である同社長は、硝酸、弗酸といった劇薬を使用するステンレス表面処理の現場の危険性に心を痛め、これまで自分が蓄積した知識、ノウハウを活用し新しい技術開発に結びつけた。ベンチャーの大先輩の歩んだ道と成功のノウハウを探る。

#### 定年からの挑戦！

#### 広島発明王の金属表面処理技術

- [視聴覚教材No. TV15-3](#)
- [動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



広島にやってきた志垣さん。その手に持っているのは随分と焼け焦げのついたヤカン。

今日の訪問先はケミカル山本。優れた金属表面処理技術を持っており、さっきのヤカンに似たような焼け焦げを綺麗に落とすことができるという。こちらが創業者の山本社長。

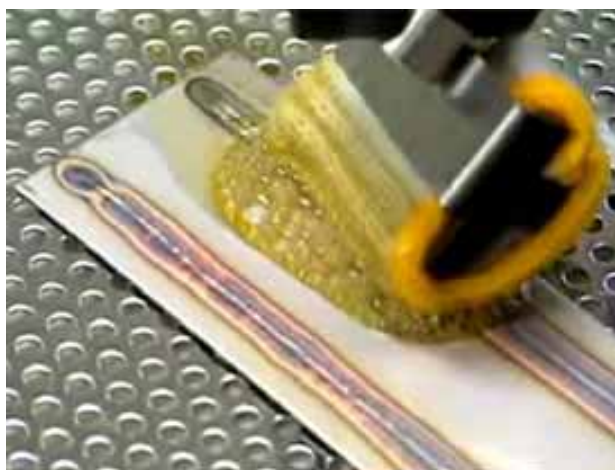




山本社長が今まで取得した特許は100件以上。科学技術庁長官賞、黄授褒章の受賞経験もある。早速、その技術を見せてもらうことに。



特殊な電解液を電極に含ませて、



ステンレスの焼け跡をなぞると...



こんなに綺麗に焼け跡が取れる！作業時間もわずか数秒。



大企業で金属の研究をしていた山本社長は、現場から劇毒物を追放したいという思いから、定年退職後ケミカル山本を立ち上げた。

錆に強いステンレスも溶接部分から錆が発生する。そのため、溶接焼けは落とさなければならないのだが、以前は危険性のある劇毒物の硝酸を使用していた。しかし、山本社長の発明により、安全でしかも素早い焼けとり作業が可能になったのだ！



金属表面処理技術の研究により数々の特許を取得。しかし、数多くの特許を取得した山本社長は「無駄な特許は出さない。出した限りは実用化する」という。

ニーズにあった研究開発をする



定年退職後、山本社長は自宅の一室を研究所として使用。のんびりとした定年後を望んだ奥様も山本社長の固い決意の前に、「一生懸命協力するしかないと思った」と語る。





ケミカル山本の技術は、溶接部分の焼けとりだけでなく、金属の表面を鏡のように研磨したり、曇った銀食器を新品のように綺麗にしたりすることができる。

ひとつの技術から改良を重ね市場拡大



ケミカル山本では100種類以上の製品を販売している。「ひとつひとつに特許がある。中小企業は特許を大事にしなければならない。そのためには、特許出願をして守ってもらう必要がある」と広島の実業家、山本社長は語った。

中小企業の技術は特許取得で守る



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN